

2. 中心市街地の活性化について（問4～問6）

問4 中心市街地(豊橋駅周辺)へ行く場合の主な目的は何ですか。

【あてはまるものを3つまで選びその番号を記入】

(n=2,279)

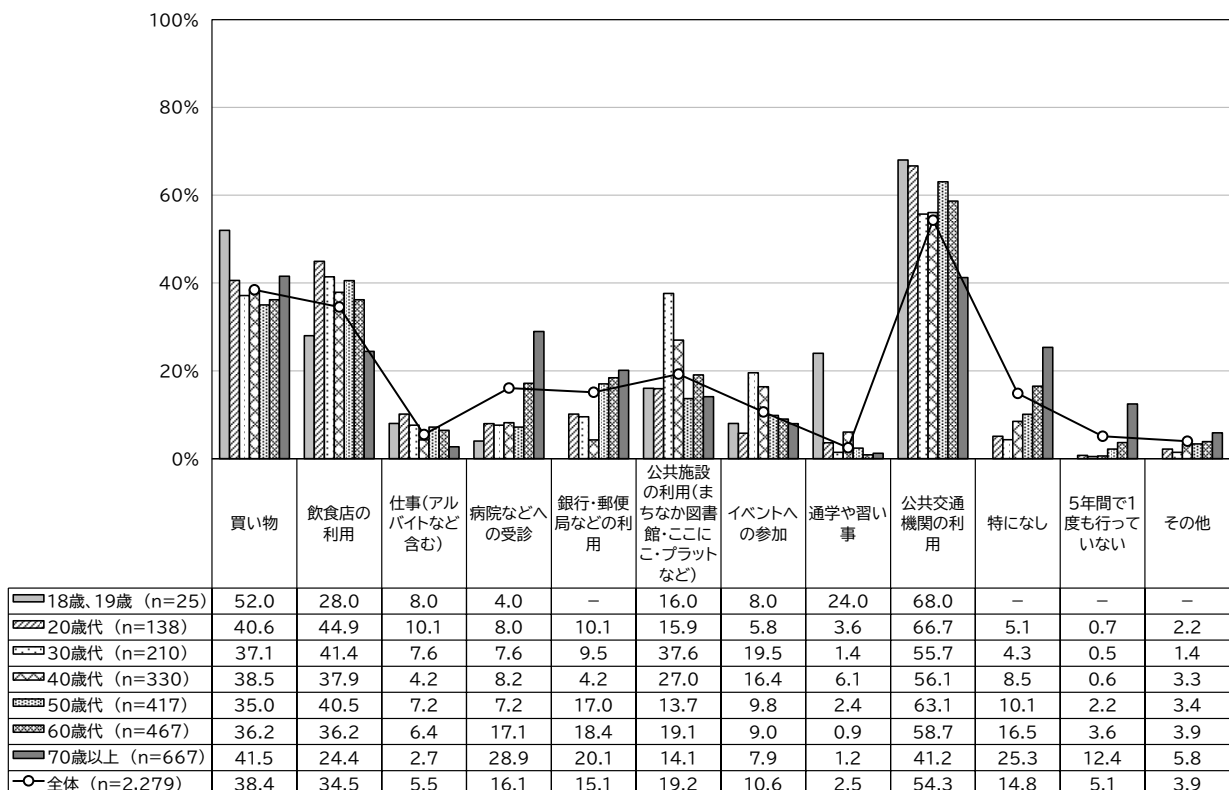
(1) 全体的傾向

「公共交通機関の利用」と回答した人の割合が54.3%と最も高くなっている。次いで「買い物」が38.4%、「飲食店の利用」が34.5%となっている。

(2) 年代別にみた特性

すべての年代で、「公共交通機関の利用」「買い物」「飲食店の利用」と回答した人の割合が高くなっている。特に、70歳未満の年代で「公共交通機関の利用」と回答した人の割合が最も高くなっている。

また、18歳、19歳は、「通学や習い事」と回答した人の割合が24.0%、30歳代は、「公共施設の利用」と回答した割合が37.6%、70歳以上は、「病院などへの受診」が28.9%と他の年代と比べて高くなっている。



問5 現在の中心市街地は、概ね5年前と比べ、にぎわいが増していると思いますか。

【あてはまるもの1つに○】

(n=2,305)

(1) 全体的傾向

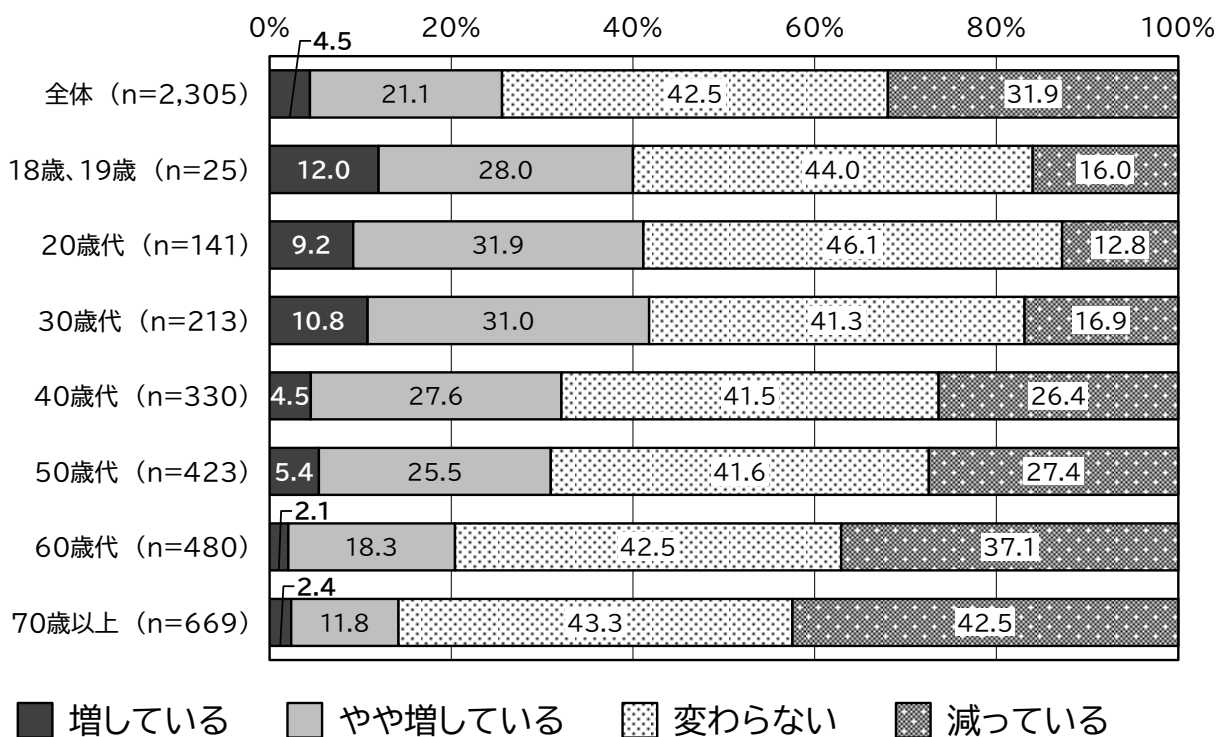
「変わらない」と回答した人の割合が42.5%と最も高くなっている。次いで「減っている」が31.9%、「やや増している」が21.1%、「増している」が4.5%となっている。

(2) 年代別にみた特性

「増している」「やや増している」と回答した人を合わせた割合は、若い年代の方が高い傾向があり、30歳代以下で40.0%以上となっている。

一方、「減っている」と回答した人の割合は、年代が高くなるほど高くなる傾向があり、70歳以上は42.5%となっている。

「変わらない」と回答した人の割合は、年代間であまり変動がみられない。



問6 現在の中心市街地をより活性化させるためにどのような取り組みが重要だと思いますか。

【あてはまるものを3つまで選びその番号を記入】

(n=2,311)

(1) 全体的傾向

「魅力ある商業・サービス業の開業促進」と回答した人の割合が59.0%と最も高くなっている。次いで「自家用車で訪れやすくするサービスの向上」が42.0%、「空き店舗や駐車場などの低未利用地の活用」が38.9%となっている。

(2) 年代別にみた特性

すべての年代で、「魅力ある商業・サービス業の開業促進」と回答した人の割合が40.0%～66.1%で最も高くなっている。

18歳、19歳では、「イベントの実施」と回答した人の割合が36.0%、「通りの景観や歩行空間などの環境整備」と回答した人の割合が32.0%と他の年代に比べて高くなっている。20歳代及び30歳代は、「老朽化した建物の更新」と回答した人の割合がそれぞれ、38.7%及び34.6%となっており、他の年代に比べて高くなっている。30歳代から60歳代までは、「自家用車で訪れやすくするサービスの向上」と回答した人の割合が40%を超えており、特に40歳代が最も高く51.7%となっている。70歳以上では、「多世代・多文化が交流できる場づくりの充実」が20.1%と他の年代と比べて高くなっている。

